

ロボット支援腹腔鏡下手術を受ける患者さんの 情報の研究利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センター麻酔科では、「ロボット支援腹腔鏡下手術術後縦隔気腫の発症頻度」の調査・検討を行うことになりました。

この研究の目的は、ロボット支援腹腔鏡下手術術後の縦隔気腫の発症頻度などの有害事象を調査し、現状の把握とともに問題点の抽出を行うことです。

この研究のため、2013年10月1日より2021年5月31日までのロボット支援腹腔鏡下手術を施行された方の診療録の調査を行います。対象となるのは外科・泌尿器科・産婦人科でロボット支援腹腔鏡下手術を受けた方で、調査項目は、個人情報を含まない医学的な情報（内服歴、治療経過など）のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心ください。

調査したデータは、本研究の責任者のもとで厳重に管理されます。また、今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な学会で報告し、医学論文にて報告します。ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記までご連絡ください。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ねください。

2021年8月

東京医療センター 麻酔科

研究責任者 平出 翔

連絡先 03-3411-0111 (代)